

JIS K 7317用 目視判定ジグ

機能性フィルムの「きず」を観察し、引っかかり硬さを評価。



製品写真：カメラ付き仕様

JIS K 7317:2022とは

「プラスチック - 機能性フィルムの引っかかり硬さの求め方」を定めた規格です。ダイヤモンド圧子で試験片を引っかかり、表面のきずの有無を目視で確認します。

評価するのは

きずが確認できない最大荷重

透明・不透明、加飾の有無を問わず、平たんで圧子が滑らかに移動できる機能性フィルムが対象です。

目視判定ジグの原理

ハーフミラーと黒い遮光帯を備えたラインLEDを用い、きずを白い線として観察します。

試験から判定まで

01 引っかく

トライボギアにダイヤモンド針を装着し、一定荷重・一定速度で引っかきます。

02 観察する

引っかかり操作の直後に、目視判定ジグできずの有無を確認します。

03 硬さを求める

荷重を10 gずつ変えて確認し、きずが見えない最大荷重を報告します。

主な試験条件：速度 1.5～2.0 mm/s / 距離 10 mm以上 / 荷重 10～200 g

製品ラインアップ

TYPE:7317B

目視判定ジグ (JIS K 7317)

TYPE:7317C

目視判定ジグ カメラ付き (JIS K 7317)

USB-CMOSカメラ付属

対応トライボギア：TYPE:38F/P、TYPE:14FW、TYPE:38、TYPE:40、HHS2000S など

規格に適したダイヤモンド針を装着することで測定可能です。

圧子の先端角は $90^{\circ}\pm 5^{\circ}$ 、先端球半径は 0.10 ± 0.01 mm。荷重・速度なども規格条件に設定します。

※ カメラ画像による判定は、目視による判定結果との一致を確認した上で行います。

※ 本紙はJIS K 7317:2022 (箇条4・5・8・9、附属書B) の概要です。試験の詳細は規格本文をご確認ください。